

# 令和4年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	05	30	たかつランドマーク保全活用事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		まちづくり推進部地域振興課		坪	64351	

## 事業の概要

<b>事業の概要</b>		高津区のランドマークとなっている歴史的・文化的資源等の保全・活用を推進し、区の魅力を発信するとともに、憩いの場や賑わいの創出を図る。							
<b>実施期間</b>		事業開始年度 平成14年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域資源活用事業	
<b>地域の課題と現状</b>		都市化によりまちの緑が減少している中、緑地や水辺の整備、花と緑のまちづくりの推進により潤いのある空間を創出する必要がある。久地円筒分水、かすみ堤については、雑草の繁茂が激しいため定期的な除草を行い、桜等については樹齢が高いものがあり樹勢回復が欠かせない。各ランドマーク施設等について、地域コミュニティの場としても活用し、地域の魅力づくりを進めていく。							
<b>予決算</b> (単位:千円)	<b>年度</b>	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	<b>事業費</b>	3,192	3177						
	<b>財源内訳</b>	国庫支出金							
	市債								
	その他特財	113	113						
	一般財源	3,079	3064						

## 計画 (Plan)

<b>事業の目的</b>	各ランドマーク施設等について区民の憩いの場として、引き続き区民と協働で良好な状態を保持するよう維持管理を行うと共に事業を通して地域コミュニティの活性化を図る。
<b>今年度の事業の取組内容</b>	(久地円筒分水)月1~2回の美化活動。体験イベント1回実施。業者による剪定の実施。(かすみ堤)桜の樹勢回復の推進及び草刈りの実施。(花と緑のたかつ推進)区内各所に設置したコンテナ・花壇の適正な維持管理。委託によるキラリデッキ円筒広場の花苗植栽管理とキラリデッキ植栽体験の実施。

## 実施結果 (Do)

<b>上記取組内容に対する達成度</b>	<b>3</b>	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
<b>取組内容の実績等</b>	(久地円筒分水)美化活動を15回実施。体験イベント1回実施。大学生ボランティア1回実施。剪定の実施。(かすみ堤)桜の樹勢回復の推進及び草刈りの実施。(花と緑のたかつ推進)区内各所に設置したコンテナ・花壇の適正な維持管理。委託によるキラリデッキ円筒広場の花苗植栽管理とキラリデッキ植栽体験の実施。								
<b>数値で把握することが可能な取組</b>	<b>指標分類</b>	<b>指標</b>		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	<b>単位</b>	
	1	活動指標	(久地円筒分水)ボランティアとの協働による美化活動の実施	目標 17				実績 15	回
	2	活動指標	(久地円筒分水)美化活動体験イベントの実施	目標 1				実績 1	回
	3	活動指標	(かすみ堤)地域住民との協働による美化活動の実施	目標 2				実績 2	回
	4	活動指標	(久地円筒分水・かすみ堤)植栽の専門的な維持・管理	目標 2				実績 2	回

## 評価 (Check)

<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b>	久地円筒分水サポートクラブの活動について、高齢化が進んでいる。また、久地かすみ堤については、高津区市議会議員懇談会から利活用に向けた検討を進めることが要望されている。		
<b>事業の見直し・改善内容</b>	■ 実施 (直近) 28 年度 □ 今後実施( 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	平成28年度からサポートクラブの自主的な活動として、市公園緑地協会の助成金を活用した花植えプロジェクトをスタートするとともに、サポートクラブの新たなメンバーの確保を目的として、一般区民を対象とした美化活動体験イベント等を開催している。久地かすみ堤については、利活用を行う団体が維持管理を行う枠組みを構築した。		
<b>評価項目</b>		<b>評価</b>	
<b>必要性</b>	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	<b>a</b>
	評価の理由	各ランドマーク施設等について区民の憩いの場として、適切に維持管理していくためには、引き続き区民との協働により効率的に事業を推進する必要がある。	
<b>有効性</b>	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	<b>a</b>
	評価の理由	久地円筒分水においては、美化活動以外でも大学生ボランティアや小学校での講演会の実施など、一定の成果があったと考えられる。	
<b>効率性</b>	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	<b>b</b>
	評価の理由	自立的に活動できるような支援手法を引き続き検討するとともに、専門的な維持管理については道路公園センターと協議を行いながら効率的かつ効果的な手法を検討していく。	

## 改善 (Action)

<b>今後の事業の方向性</b>	<b>方向性区分</b>	<b>方向性</b>	<b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性</b>
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	<b>I</b>	今後も各ランドマーク施設等について、維持管理するとともに、関係団体がより自立的に活動できるような支援手法を引き続き検討していく。また、専門的な維持管理については道路公園センターと協議しながら効率的かつ効果的な手法を検討していく。

# 令和4年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	05	45	地域資源を活かしたまちづくり推進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		高津区役所まちづくり推進部企画課		大泉	6412	

事業の概要									
事業の概要		区内の地域資源を活かした回遊性のある魅力的なまちづくりを推進するため、「高津のさんぼみち」に関するサインの整備及びガイドマップの制作を行うとともに、収集した古写真等を活用する「高津区ふるさとアーカイブ」の運用を推進する。また、溝口駅周辺等の区内の既存サインについて、広告収入を活用しながら改善を進める。							
実施期間		事業開始年度 平成23年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域資源活用事業	
地域の課題と現状		高津区には、歴史・文化・自然など豊富な地域資源が存在するが、これらをつなげるための回遊ルートの設定と案内表示の整備及び情報発信が課題である。 また、駅前等における既存公共サインは表示内容が古く、デザインが統一されていない等の課題がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2034	1780	2,775					
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財	396		396					
	一般財源	1638	1780	2,379					

計画 (Plan)	
事業の目的	高津区内の歴史・文化・自然などの地域資源を結び付け、回遊性のある魅力的なまちづくりを推進する。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>高津のさんぼみち等を活用したウォーキングイベントの開催</li> <li>歴史的資料を活用した地域資源の魅力発信</li> <li>公共サインの改善・整備・維持管理</li> </ul>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		「高津のさんぼみち等を活用したウォーキングイベント」については、JRと共催の「駅からハイキング」について「高津のさんぼみち」をベースとしたコースをJRとの協働により作成し、実施した。また、「高津のさんぼみち」2コース分を増刷した。公共サインについては、溝口駅前キラリデッキ上の地図案内板を最新の情報のものに更新した。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	高津のさんぼみち等を活用したウォーキングイベントの開催	目標	1	1			回
				実績	1				
	2	成果指標	公共サインの改善・整備・維持管理	目標	1	1			箇所
				実績	1				
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		公有財産の有効活用による公共サインの持続可能な維持管理の取組が全国的に進んできている。 東京オリンピック・パラリンピックの開催を機に進んだ公共サインの多言語化について継続的な取組が求められる。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) <input type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直し履歴も記載できる場合は記載		平成28年度に設置された溝口駅南口広場総合案内板への民間広告掲載事業を社会実験として実施し、有効な手法と判断できたため、本格実施。広告事業者の負担による当該案内板の維持管理を安定的に行うとともに、広告掲載料を区内既存公共サインの維持管理費用に充当する。また、他の公共サインにも同様の手法が適用できるかどうか検討。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	東京オリンピック・パラリンピックの開催を機に進んだ公共サインの多言語化等、社会環境の変化に応じた継続的な見直しが必要であり、事業のニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	高津のさんぼみちは地域団体のイベント等で利用されるなど、成果は上がっていると考えられる。また、公共サインの改善についても、財源を独自に確保することで安定して進めることができている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	公共サインの改善については、広告掲載事業社会実験の効果等を検証し、本格実施を実施している。今後は、当該事業の区内他地区への拡大等に向けて検討を進める。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 「高津のさんぼみち」については、増刷時に時点修正を加えることが求められる。また、公共サインにおける広告掲載事業の実施を継続するが、事業の拡大等の更なる検討を進めていく。

# 令和4年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	05	25	高津区プロモーション推進事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671650		まちづくり推進部企画課			越智	64121

事業の概要									
事業の概要		・高津区の区政情報を広く区民に周知するため、ガイドマップなどさまざまな広報媒体を活用して、効果的な情報発信を行う。区内の地図や公共施設一覧、バス路線図、防災情報、区役所の電話番号案内などを掲載したガイドマップは、区役所にて転入者全世帯に配布するとともに、区内各公共施設にて希望する区民に配布する。 ・重要な施策を広く区民に周知する。							
実施期間		事業開始年度 平成23年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域資源活用事業費	
地域の課題と現状		多様化する生活様式のなかで、一人でも多くの区民に適切な情報を伝達できるよう配慮する必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費	2398	2133						
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	2398	2133						

計画 (Plan)	
事業の目的	区政情報を広く区民に届けることを目的とする。
今年度の事業の取組内容	・区民意見を反映したガイドマップの作成・配付、効果的な広告募集方法の検討。 ・区政50周年の広報

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・ガイドマップの作成 23,000部 ・区内公共施設等16箇所、その他市内9箇所に配布。広告掲載11件(12枠) ・区制50周年ロゴマークをデザインしたイルミネーション及び説明板を制作して出展した(期間:R4.11.11~R5.1.31)								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位		
	1	活動指標	ガイドマップの作成	目標	23,000				部	
				実績	23,000					
	2	活動指標	イルミネーションを活用した情報発信	目標	1				回	
				実績	1					
3			目標							
			実績							
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		区民が、区に関する基礎的な情報を身近に得られることで安心して日常生活を送れるよう、区内の地図や公共施設一覧、バス路線図、防災情報、区役所の電話番号案内などを掲載した総合ガイドマップを作成し、区役所にて転入者全世帯に配布するとともに、区内各公共施設にて希望する区民に配布する。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	毎年、地図面や記載情報の更新があるため、ニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	転入世帯以外にも配布希望があることから一定の成果があったと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
ガイドマップについては、区内施設の変更や掲載情報に関する調査や、市民アンケート等に基づく実現可能な変更などによる見直しを行う。その他、区の重要施策について効果的な広報ができるよう、時期や方法などの見直しを行う。		

# 令和4年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	05	40	たかつ魅力ネットワーク推進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		まちづくり推進部地域振興課		山岸・山田	64355	

事業の概要									
事業の概要		区における歴史的な名所や農風景、ものづくりなどの高津区の地域資源を活用した魅力づくりを推進する。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域資源活用事業	
		平成21年度		-					
地域の課題と現状		新型コロナウイルス感染症の影響から縮小や中止が続いていたため、今年度においては、感染症対策を講じてイベント等を実施する。また、さらなる地域活性化の推進に向けて、担い手となる人的資源の相互交流や連携強化等の相乗効果により、事業を効果的・効率的に実施するとともに、持続可能な執行体制のあり方の検討も進めていく。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費		3,218	2,729				
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	3,218	2,729						

計画 (Plan)	
事業の目的	<p>【大山】高津大山街道及びその周辺に残っている歴史的・文化的な地域資源を保全・活用</p> <p>【たちばな農】高津区の橋地区における「農」の地域資源を活用</p> <p>【ものまち】区内ものづくり企業と地域住民との交流及びものづくりの魅力発信による「住工共生のまちづくり」の推進</p>
今年度の事業の取組内容	<p>【大山】大山街道の魅力発信のとして、大山街道アクションフォーラムとして、まちの企画室関連イベント、大山街道歴史ウォーキングを実施する。</p> <p>【たちばな農】農業者と区民が協働し、食と農の資源を発見するため、さんの市等を実施する。</p> <p>【ものまち】オープンファクトリー等における広報等の協力及び工場見学会・ものづくり授業等を通じた区内児童へのものづくりの魅力の伝達する。</p>

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	2	1. 目標を大きく上回って達成	4. 目標を下回った				
		2. 目標を上回って達成	5. 目標を大きく下回った				
		3. ほぼ目標どおり					
取組内容の実績等	<p>【大山】大山街道アクションフォーラムとして、まちの企画室関連イベント、大山街道歴史ウォーキングを実施した。</p> <p>【たちばな農】さんの市、フォトコンテスト、フォトツアー、農体験の実施とおさんぽマップの発行を行った。</p> <p>【ものまち】区内工業会主催のオープンファクトリー等でのイベントについて実行委員会として参加し広報等に協力、また、小学生を対象としたものづくり授業を1回、工場見学会を1回実施。</p>						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1 成果指標	【大山】まちの企画室等イベント参加者数	目標 300 実績 1150				人
	2 成果指標	【大山】まちの企画室等イベント回数	目標 6 実績 6				回
	3 成果指標	【たちばな農】さんの市開催回数	目標 6 実績 6				回
	4 成果指標	【ものまち】工場見学会開催回数	目標 1 実績 1				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	今後市内の人口が減少すると考えられるなか、事業の実施を通して、地元の農業や自分が住む街への区民の関心を高め、より地域の魅力を向上させることが求められている。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 4 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)		
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	コロナ禍でも事業が継続できるよう、飲食のないイベントへの変更や新たな取組みとしてまちの企画室等の新規事業を開始した。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民ニーズ調査においても、「多くの区民が参加できるようなイベントを開催する」ことが望まれている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	事業を通して実施したイベントの来場者がコロナ以前と同等もしくは超過している。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	委託団体等と都度協議を行い、役割分担の見直し等による改善を進めていく。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
		イベントの実施を通じ、地域の魅力を向上させるとともに、地域に主体的にかかわる層を増やすことを目指していく。